



LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース

令和元年 5月 第5号

今



和



クラブズ合併についての座談会

2019年4月4日
於：ルノアール
新宿三丁目
ビックスビル

合併を選択するまでの現状把握と進めていく過程
についてお聞かせください

L高桑

現在3300-A地区は、2000クラブで家族会員を除いた正会員が3,600名代(以下:本メンバーと記載)という状況です。平成4年(1992年)塩田ガバナー期に9千数百人を超え、もうすぐ1万人というところだった(1600クラブ20リジョン)。家族会員制度などを活用し増強策を展開して6千名の正会員は維持しているが、27年の間に1/3ぐらいまでになり、本メンバー数の減少の流れが止まらなかつた。

今期、会員維持委員会が今井ガバナーより諮問を受け、地区内の現状を把握したところ、本メンバーの高齢化、減少問題(3300-A地区、1000クラブ超は本メンバーが20名以下)が浮き彫りとなり、また全国的な問題であることが明確になった。そこで地区内でクラブ合併をして立て直そうとした事例があると聞き、すぐさまクラブ訪問をした。合併の悪いイメージ、本メンバーがただ減るといふことはなく、前向きな運営・会員拡大・メンバーの気持ちの変化が起きたということが分かった。クラブ合併をクローズアップする方針で成功事例パンフを作って、それを地区内で知って頂くことにした。

クラブ合併に対する考え方の変化はありますか
今井 G

高桑委員長から合併の成功を聞いていた時はかなり半信半疑だった。しかし、その内容を聞いて選択肢としてはありかと思うようになった。以前

から、京橋八重洲LCとセントラル代官山LCが合併するのは聴いていたが、これまでのクラブ合併は辞められるメンバーが多く、1+1=2

になつていないという印象があつた。ただ、セントラル代官山LCのアクティビティに参加した時に、2つのクラブが協力し合つて活発に運営していた。私としては、アクティビティをするなら複数のクラブが協力し合つて大きくやっていく方向を奨励しているので、これまで通りの退会防止策をするのではなく合併策を採用して新たな気持ちでスタートすることも良いと感じたので選択肢としてありと思ひ始めた。

L篠

コーディネートという分野では3委員会があるが、3つの委員会が絶妙なバランスの上にGMTコーディネート委員会が成り立っている。そのうえで、高桑副GMTコーディネーターから、合併という話が持ち上がったことで、いつきに退会・解散になるのではなくクラブ合併をするという意識が芽生えたことは大いなる変化である。そして、これからの退会者が多い時期(4月~6月)に、慎重であるべきだが、合併を推進することは退会防止・会員維持に非常に有効な手段であると考えている。



合併選択のプロセス、意思決定、合併後の運営について(京橋八重洲LCの場合)

L武田(京橋八重洲LC)

京橋LCは20年前にはガバナー2人を輩出したが、今は一桁8名という状態だった。八重洲LCは7名で京橋(親)とは親子クラブの関係。お互いのアクティビティについて、八重洲LCはなく、京橋LCは、献血、朝掃除、盲導犬育成を行っている。6-7年前から盲導犬育成のアクティビティや定例会を2回に1回は一緒にやっていた。約10年一緒に活動して下地はあつた。

八重洲LCの会長と話し合ったときに、奉仕あつてのLC活動なのでアクティビティを継続していくために合併しようという話になった。合併準備会をクラブ三役十実行委員1名で3、4回開催。どういう形が一番望ましいかという打ち合わせをしてクラブの理事会に持ち帰って検討した。八重洲LCからも一度も反対が出ずにお互い解散でなく、八重洲LCがまず解散して合併するという方向性になった。

合併成功への準備と手順

合併準備委員会を作つて、話し合つたことを各クラブに持ち帰り話し合えたことが非常に重要だった。資産について解散することになった八重



本座談会の目的 平成時代(1989-2019)の後半、2011年の東日本大震災以降ボランティアの多様化、会員の減少傾向と高齢化などで地区内クラブを維持継続することが難しくなってきた。対応策として少人数のクラブが合併した場合の長所短所について、今井 文彦 G、GMT 地区コーディネーター



洲LCは全員に分配するのではなく、新しい京橋八重洲LCの年会費に充当し、八重洲側メンバーの約1年の年会費が無料になった。会費は京橋20万円、八重洲LC18万円、合併後は20万円。

一番うれしかったのは八重洲LCが様々な手続きに賛同してくださったこと。誰も辞めることなく合併することができた。そして、チャーターメンバーからの提案で合併後のクラブ運営について以前はどうだったと一切言わないと決めたこと。奉仕活動が原点だということだけ統一させた。

L高桑

手順としては、八重洲LCがまず解散し、京橋LCが京橋八重洲LCに名称変更して、八重洲LCメンバーが移るといふことに。

L篠

八重洲と京橋の両方の名前が残ったのは素晴らしいことだと思う。地域名を残すことに意義があると感じている。

合併選択のプロセス、意思決定、合併後の運営について(セントラル代官山LCの場合)

L大城

もともと京橋八重洲と同じでセントラルが「親」で代官山が「子」クラブ。9Rのアクティビティで新しいクラブを作ろうとして代官山LCが誕生(全員ノンラオインの素人集団)。セントラルLCが親クラブを引き受けてくれ(合同事務局の担当も同じ)その縁で、セントラルL



Cのアクティビティ(中国の残留孤児の日本語スピーチ大会)を手伝っていた。一方、代官山LCは地域にひまわりを植えるアクティビティを行っていた。

誕生以来奉仕をずっと一緒にやってきているという状況だった。メンバー構成は、セントラルLCは平均年齢が75歳近くで10名、代官山LCは若手で構成だが人数が5名以下となっていた。

合併成功への準備と手順

L大城

合併に向けて、代官山LCとしては数項目の確認事項、継続条件を挙げてそれらを了承されるなら合併へ進めていきたいと準備委員会でも提案した。何度か話し合い、各クラブの理事会に持ちかえり話し合った。その時セントラルLCが10名、代官山LCが5人(内2人は退会予定)という状態。

合併後は、13名でスタート。今は人数がある程度いると新人への勧誘にも自信が持て、候補者がいる状態。



ないと非常に難しい。価値観を共有する必要があるが、合併ありきで共有するのではなく、価値観の共有があつて合併という話が出てくるのが正論。

合併先の選定について

L高桑

今の時点では奉仕、例会、旅行を合同に開催、親子クラブか同じリジョン、ゾーン、姉妹クラブ等が選定先と思われる。長い期間メンバー同士が知り合い、家族ぐるみで特徴を周知してないと難しいと思う。

合併後、「新しいこと」「新人発掘」への取り組みについて。

L武田

L高桑
本合併について運営面を補足すると、セントラル26万円、代官山36万円の年会費。例会場は、中野サンプラザ、南国酒家だった。合併後、例会場は基本を中野サンプラザとして、南国酒家でも数回行うように調整した。合同事務局の担当者が同じで手続きもスムーズだったのは幸運だったかもしれない。

L大城

書類上、代官山LCは解散して、セントラル代官山LCに入会したという手続きになった。正論でいえば前向きな話ではない。合併を選択するかは当事者同士の話

なので、キャビネットから合併を推奨されるということではなく、サポートするという形が望ましいと思う。合併を反対しているメンバーもいるので、主権在クラブの判断を優先すべきだ。

合併の一番の条件は

L武田

合併は簡単ではない。諸々の条件が整わ

L大城

成功体験というが合併は成功したが、その後はまだこれから。今後のビジョンなどはないが、合併したことでクラブの人も増え、奉仕活動へのモチベーションはアップしている。「やってみよう」「いい策を考えてみよう」と前向きになった。現在は策を練っている状態。

会員増強策の中の、家族会員制度はどう思うか。

L武田

家族を巻き込めるアクティビティがあれば、一緒に奉仕活動をしてライオンズが理解してもらえるので良いと思う。基本は、「本メンバーを増やす」ことに注力すべき。

今井G

家族会員として奥様同士が友人となり、女性目線のきめ細やかなアクティビティ（例えば子ども食堂など）などが展開されていけば、理想的といえます。

会員増強のひとつのテーマとして合併があると思います。合併後のクラブの魅力の作り方などをお聞きかせください

L大城

数名が「辞めよう」とか「もう続けられない」と言っているところ。ところが合併して一緒にいると、「続けよう」「やってみよう」



ということになる。解散したらバラバラになるが、みんなが行くなら俺も行く的なこともある。会員増強というよりも退会防止の策の一つになると思う。

L高桑

セントラル代官山LCは合併してまた1年。それを裏方でどう支えるかが重要。合併後のアドバイスができる思考がしなやかなガイディングライオンがいればもったいい状態になる。

L武田

「負担と犠牲を分かち合おう」という精神がないと、ただ参加しているというだけだと活性化は難しいと思うので、メンバー皆で助け合うことに取り組んでいきたい。

今井G

組織論的には同じ手法でクラブ運営をやり続けるのは難しい。どんどん新しいことを取り入れ変えていくべきだと思う。それをやって現状維持となると考えて欲しい。

L高桑

ZCの役割も極めて重要。ゾーン内のクラブの情報収集をしてクラブの進んでいる方向性を理解して良いアドバイスができるように欲しい。

今井G

クラブ解散が決まってからでなく、事前にお知らせして欲しい。合併などほかの選択肢もある。ZCがそういう情報をキャビネットに上げてくれるのが重要。



役員決め方は

┌武田

一部の人に負担が集中するので、本メンバーの意識改革が必要だと思う。

┌大城

私たちは話し合いの中で、誰かだけが何かをするということを避けて、みんなで作っていく。

新しい風が入るとお互いに変化がもたらされる。良い例が、スピーチコンテスト、雰囲気明るくなったと多くの参加者からコメントをいただいた。生まれ変わった新しいクラブになれば良いと思う。今回合併でクローズアップされメンバーは嬉しく思っている。

委員長

合併策は、今期のG.M.Tセミナーで初めて聞いたが、お互いのクラブの文化が継承されるのは素晴らしいことだと思った。先日取材した、八王子いちろうL.C.と八王子高尾L.C.が合同アクティビティをやっている規模の大きさは地域への発信という意味では大きな意義があると感じた。

合併後、メンバーの世代間ギャップはありましたか

┌大城

全然知らないもの同士が一緒になる訳ではないので、世代間ギャップは全くなかった。

そもそも世代間のギャップがあった段階は過ぎて、淘汰されたメンバーが残っているのをお互いを認め合えるメンバーばかりなので問題は起きない。

結びに、座談会に出席しての感想（総括）をお願いします。

今井G

合併に関して最初は良くないと思っていたが、セントラル代官山L.C.のアクティビティをみて、最近は一十一が2や3になることもあると感じている。やり方一つで会員減少の解決策になる可能性がある。楽しくL.C.活動を続け、作り上げる方法として参考にして欲しい。

┌篠

合併は注意をしなければならぬことが非常に多くあり、全ての過程が重要だと思つた。また、将来の運営で過去どうだったかを言わないという約束は大切。本メンバーが減少している状況下、推奨はしないが進んでいく、大きなトレンドとなると思う。

┌高桑

この2例をみて今後合併はムーブメントになると思った。今期はシンポジウムも開催して詳細を案内してきた。クラブ合併の成功例という冊子を作ったので、ぜひ目を通していただきたい。

また、エクステンションのように合併のお祝い会をやるべきだと思う。みんなで祝した中で、新入会員を迎え入れていくという流れを作っていければと考えている。

┌武田

スポットライトを当てていただき感謝しています。アクティビティの基本を守りながら、相互理解の中で会員増強を図っていきたいと思います。

┌大城

スポットライトを当てて頂くことで合併をポジティブにとらえ、してみても良かったと思った。成功例と言われるように新クラブを運営し、これまで以上に発展していきたい。

座談会の構成・編集を担当して

(MC委員会副委員長 ┌赤尾 嘉晃)

1、クラブの魅力・誇れる部分をよく知ること

2、本当にアクティビティが役立つのかを参加者へ聞き取りアンケートを実施すること

3、外部への情報発信すること。

これらを常に考え、行動、結果確認と将来への対策を練っていれば、クラブは輝き続け入会候補者が絶え間なく扉を叩いてくると思われる。少人数より、同じ志のメンバーが多く集うと力は大きくなり地域をリードし社会に貢献できる。自クラブについて自信を持って話せるようになれば、様々な問題は解決に向かうと感じた座談会だった。

「力を集約してLCから市民へ笑顔をお届けしていきますよー！」

日韓の架け橋（豊島区少年野球連盟オール豊島）

8/12

8R1Z 東京サンシャイン LC

東京サンシャイン LC は、地元豊島区において少年野球チーム運営を通じて青少年育成事業を継続しています。2019 年豊島区少年野球連盟、豊島区代表チームの韓国遠征事業は、20 周年を迎えます。年号が変わる令和の時代も遠征を予定しています。

豊島区は、韓国ソウルの東大門区と姉妹都市になっており、区内少年野球チームから選抜された選手たち 25 人が区の親善大使として、韓国遠征に参加いたしました（8 月 12 日から 4 泊 5 日間）。

参加選手たちは、ホームステイして韓国の文化、生活習慣などを学び、また交流戦 7 試合と試合後のパーティーで区の親善大使の役割を存分に果たしました。なお、当クラブは様々な運営について韓国の監督さんたちと共同で行っており、青少年育成とともに国際交流の一端を担っています。本アクティビティが、スポーツを通じた青少年育成、国際交流のモデルとして多くのクラブの参考になればと思っています。下記に参加したキャプテンの感想文を添付いたします。

『韓国遠征』10 加藤将真、

高松 2018 年度オール豊島キャプテン

僕はオール豊島に選ばれた時から韓国遠征が一番の楽しみでもあり、日本とプレスタイルが違う韓国チームと試合が出来ることにワクワクしていました。韓国での滞在先



がホームステイということで、韓国語講座で勉強してきました。が韓国の人達に言葉が通じるか不安でいっぱいでした。韓国では全 7 試合・3 勝 2 敗 2 分けでした。韓国チームの選手達は体格もよくバッティングのパワーや安定した守備力にはビックリしました。試合前の練習など自主的に取り組んでいて、見習わないといけないことが沢山ありました。3 日目にはスタジアムで試合でき気持ちよくプレーできました。オール豊島は、試合を重ねることに、みんなでひとつひとつのプレーに集中し、声をかけ、まとまってきたチームの中で、全力で野球を出来たことが楽しかったです。

ホームステイ先のファミリーには、プールや川などに連れて行ってもらったり、焼き肉やバーベキューなどおいしいものを沢山たべました。言葉の不安もファミリーが少し日本語



ができたのと、勉強した韓国語が通じたので、不安もなくなり楽しい思い出が沢山つくれました。

今回オール豊島のキャプテンとして韓国遠征に参加し、22 人の多人数チームをまとめるのに、みんなにサポートしてもらいチームワークの良一生忘れられないチームメイトが出来ました。分からない事や困っていた時は韓国の選手やファミリーにサポートしてもらったおかげで楽しい時間が過ごせました。一生忘れられない良い思い出と心から言いきれる楽しい韓国遠征になりました。

防災フェア・チャリティイベント参加

3/10

1R3Z 東京蒼天 LC



3 月 11 日は、東日本大震災から 8 年目新宿中央公園水の広場にて東日本大震災復興チャリティイベントが行われ、今回も八王子富士森高校吹奏楽部（FWO）の生徒さんとの合同アクティビティとして、



新世紀 LC からご支援を頂き、焼き鳥・フランク・ホットドック・カレーの模擬店を出店致しました。

高校生とライオンズメンバーと一緒に汗をかいて、ライオンズクラブの啓蒙活動



と奉仕活動を最大限にアピール出来た 1 日となりました。

収益金は、災害復興支援金として使わせて頂きます。

東京蒼天 LC ZC L川島 富美子

● 奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介致します。魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

第5回 献血呼びかけ奉仕 in 西新宿

3/10

8R1Z 東京豊新 LC

豊新ライオンズクラブは、新宿地区のボーイスカウトとともに年6回新宿駅西口献血ルーム前で献血呼びかけの奉仕を行っている。ここ5年間は冬の献血量が減少する10月～4月の時期に実施している。

シュを受け取り受付へ進まれる人が多くみられた。

参加者：メンバー6名、新宿ボーイスカウト第8団25名。

東京豊新 LC 献血委員長 L 杉山賢二



桜の植樹 CN55 周年記念アクティビティー

3/10

10R2Z 東京世田谷 LC

東京世田谷ライオンズクラブでは CN55 周年記念事業として南三陸に江戸彼岸桜の植樹を行いました。

桜の植樹は、桜並木ネットワークを通じて桜の木をドネーションし、一般の方達と合同で

桜の木を南三陸の高台にある海の見える命の森に植樹しました。

全体では過去最大の7企業3大学のボランティアを含む100人超の参加があり53本の江戸彼岸桜が植樹されました。

東京世田谷ライオンズクラブでは、同じ場所に2年前も桜の植樹を行っており、前回に植えた桜の木も大きく育っているのが確認できました。

東京世田谷 LC 副幹事 L 太田珠貴



東日本大震災 復興支援募金活動 3/11

5R2Z 東京江戸川南 LC

伊賀第一副地区ガバナーをはじめ、各クラブのメンバー、東京 23FC のサッカーチームの方々と力を合わせて募金活動を行いました。皆様方の温かい気持ちのおかげ様で、766,525 円の募金をお預かりし翌日 3 月 12 日 (火) に 全額を気仙沼 LC に振込させていただきました。8 年が経ちましたが一刻も早く被災地の皆

様が平穏な生活に戻ることを強く願うばかりです。

ありがとうございました。

東京江戸川南 LC 会長 L 久世敏雅



5 大学スピーチコンテスト開催 3/16

4R3Z 東京桜門 LC、東京セントポール LC、東京駿河台 LC、東京白門 LC、東京法政 LC



第 1 回五大学ライオンズクラブ留学生日本語スピーチコンテストが、明治大学駿河台キャンパスにて行われた。各大学の生徒が 2 名ずつ参加し、中国、韓国、フランス、ミャンマーの学生達が日本語で自分の身近なエピソードについて思いを語った。留学生のスピーチに各大学の審査員も真剣に耳を傾け、スピーチしている大学の審査員は審査出来ない形をとり公平さに注力した。学生たちの語る日本は、現在の政治状況に関

わらず自分たちが見て聞いて経験した日本であった、このように偏った情報を排除しての日本感は新鮮に受け入れる事ができた。本当の未来志向とは参加学生たちの世代が、傾いたジャスティスではなくフェアな思考と行動からはじまるのではないだろうか。懇親会では参加者の学生達が国や大学の枠を超えて、歓談のなか交流を深め、五大学が目指していたグローバルなコミュニケーションが出来た素晴らしい会となり、未来に向けての恒久的な開催が期待された。



第 8 回法政ライオンズクラブ杯ジュニア空手道大会 3/17

4R3Z 東京法政 LC



第 8 回法政ライオンズクラブ杯ジュニア空手道大会が、法政大学多摩キャンパス総合体育館で行われた。参加選手は約 350 名。主催は法政ライオンズクラブと法政剛柔会。後援は一般社団法人、法政大学校友会。

今年も法政大学卒業生の菅義偉長官からも祝電が届き、元地区ガバナー L 河合悦子が

ら寄贈のカップが優勝チームに手渡され、この日は河合元ガバナーの誕生日という事もあり、法政ライオンズクラブから花束が贈呈された。子供達の元気な声が響き渡る素晴らしい会となった。

キャビネット副幹事 L 後藤裕文



第 8 回出前寄席 3/20

13R2Z 東京田無 LC



毎年恒例の東京田無ライオンズクラブ主催の第 8 回チャリティー出前寄席が 3 月 20 日に行われました。対象は市内の老人クラブの皆様で、120 数名の方が参加してくださいました。咄家は日本落語協会の重鎮である金原亭馬之助師匠と、前座の柳亭市朗をお招きしました。金原亭馬之助師匠には 2 席も演じていただき、最後に、今の落語会では彼しかやるものがない百面相も

やっていただきました。老人会の皆様には大変喜んでくださいましたので、成功裏の中で終演することができました。又、来年も企画したいと思います。東京田無 LC

出前寄席実行委員長 L 鷲塚 誠



14R1Z 東京八王子いちよう LC、東京八王子高尾 LC

3月24日(日)東京都八王子市の片倉つどの森公園において「ツリークライミング体験会&サッカー教室」が開催された。このアクティビティは東京八王子いちよう LC と東京八王子高尾 LC との合同アクティビティである。当日は天候に恵まれ200名に及ぶ参加者で賑わい、今井ガバナーも駆けつけた。ツリークライミングには45名の児童が、ツリークライミングジャパン指導者のもと木登りを体験した、ロープを使い全身で登っていき頂点からは美しい富士山を眺める事が出来たのではないだろうか。サッカー教室では

八王子 FC の選手、コーチから指導を受けた拝島第二小フットボールクラブの選手19名は途中休憩を挟み約80分間走り続け、真剣な眼差しでボールを追いかけていた。傍ら、LCメンバーは焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、豚汁などを調理し、参加者に提供した。この合同アクティビティは実行委員会を立ち上げ、準備期間に半年を要したその甲斐もあってか、スタッフの巧みな心配りで参加者全員が笑顔に包まれ賑わいの中にも、のどかな空気を甘受する事ができた。今回が初の試みであったと聞く、これからも続けて欲しい合同アクティビティである、参加したサッカーチームの子供は、もっと教えて欲しい。



い、もっと練習したいと言っていた。青少年健全育成と多クラブとの協調を目的としたこのアクティビティは、今後更なる規模(協力クラブ数や参加人数)の拡大にも期待したい。

取材：マーケティング・コミュニケーション委員会委員長 L吉岡晋



献血奉仕活動の実施

5R2Z 東京江戸川南 LC

3月26日(火)、船堀駅前にて「献血奉仕活動」を行いました。駅前で行われていますので通りかかった方々が献血をして下さいました。メンバーは少しでもお役に立てればという思いでお声掛けさせて頂いております。ありがとうございました。次回は、4月20日(土)「一之江駅 西口春まつり」で献血活動を行いますので、どうぞよろしくお願いたします。

東京江戸川南 LC 会長 L久世敏雅



1R3Z 東京葵 LC

東京葵ライオンズクラブは 1973 年のクラブ結成以来今日に至るまで戦没者の御霊を案じるため、春には各ライオンズクラブ及び各界の方々をお招きしての追悼式典の挙行、そして秋のお彼岸の日には墓苑内の清掃奉仕を行うとともに墓苑施設の整備のお手伝いをさせて頂いております。そして 46 回目を迎える今年も昨年に引き続き「千代田区」にご後援を「千鳥ヶ淵戦没者奉仕会」にご協力を賜りました。また東京 LC、東京番長 LC、東京紀尾井町 LC、東京ピース LC、東京一ツ橋 LC、東京蒼天 LC にご協力を頂きました。献水の儀では、330-A 地区今井文彦ガバナーを始め前・元ガバナー他の皆様 1R-RC 1ZC 2ZC 3ZC 後援クラブ会長、また全国友好葵 15 クラブの方々から京都の水、駿河静岡の水、常陸水戸の水、肥後熊本の水等々、全国から届きました水を献上いたしました。「日舞奉演」「献辞」に続き江東区立明治小学校マーチングバンドの皆様から「音楽奉奏」を、ご参列者全員で『故郷』を合唱致しました「献花の儀」では参列者全員が菊の花を一輪づつ、しめやかに献上致しました「入会式」も挙行され 5 名の新入会員が誕生いたしました。アクティビティの贈呈を（公財）千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会、千代田さくら基金（社団）ガー

ルスカウト東京都連盟 C ブロック様へ行きました。ご来賓を代表して千代田区 長石川雅己様より『この桜の開花時期に行われる式典では厳かで追悼の想いがこもった「心の奉仕」「感動の奉仕」が 46 年にわたり続けられ、頭の下がる思いがします。毎年、区の「さくら基金」にご寄付を賜り深く感謝すると共に、この満開の「さくら」のように穏やかな日々が末永く続きますように、本日改めて尊霊のご遺徳をしのび、英霊の鎮魂と世界の恒久平和の実現に向け一層の努力をして参りますことをお誓い申し上げます』とご挨拶を賜りました。ライオンズクラブ国際協会を代表して今井文彦ガバナーより心のこもったご挨拶をいただき「東京葵ライオンズクラブの歌」をご披露いたしました。

最後に「閉会の辞」では I 伊賀則夫が戦争の悲惨さや平和の尊さを末永く引き継ぎ、世界の恒久平和に向けての新たな誓いを述べました。クラブ結成以来、年ごとに参列者が増え、この度は 300 名にも及ぶ各界の方々にご参列頂きましたことに深く感謝申し上げます。花冷えの寒中、長時間にわたりありがとうございました。

1R-2Z ZC L 宮本志づ子



子ども食堂とコラボ BBQ 大会を開催

5R2Z 東京江戸川南 LC



今期、当クラブの最大アクティビティである、江戸川区内の子ども食堂とコラボして、バーベキュー大会を実施しました。多少の寒さはありませんでしたが、雨は降ることなく無事に終了しました。総勢 50 組 200 名を超える親子での大バーベキュー大会となりました。美味しく家族のみなさんとバーベキューを食べる子ども達の笑顔、本当に嬉しそうに何

度も何度も金魚すくい・ヨーヨー釣りに挑戦する子ども達。一年に一度のアクティビティですが、この子ども達を見ると本当にやってよかったと感じました。

このバーベキュー大会で親子の絆がより深くなり、また春休みの楽しい思い出になってもらえたと思います。今年で 2 回目ですが、当クラブのメインアクティビティとなるよう、もっと工夫を凝らして楽しいイベントにしていきたいと思ひます。

当日は、大変お忙しいところ今井地区ガバナー、伊賀第一副地区ガバナー、早川 ZC をはじめ、各ライオンズクラブから多数の皆様にお越しいただきまして、御礼申し上げます。また、協力いただきました東京江戸川なでしこライオンズクラブのメンバーや ボーイス



カウト江戸川第 7 団の皆様方に心から感謝申し上げます。

東京江戸川南 LC 会長 L 久世敏雅

カーブミラー清掃 3/30

12R1Z 東京吉祥寺 LC



3月30日、本年もこの時期恒例のカーブミラー清掃を実施致しました
武蔵野ライオンズクラブ、武蔵野青年会議所と合同での奉仕活動
今後はこの形で奉仕活動が続いていくでしょう
桜咲くこの季節、非常にいい季節です
入学式のシーズンが始まりますから、今回は近隣小学校の通学路を重点にカーブミラーの清掃と通学路のゴミ拾いを行いました
煙草の吸殻、レジ袋等色々なゴミが集まり

ました
新入生には気持ちよく通学して欲しいですからね！
ライオンズクラブの基本は奉仕活動です
イメージとしてはお金を持っている人達が集まってゴルフをしたり飲み食いして交通安全の看板等を寄付している、
みたいなイメージの方が大きいです
そういうクラブも中にはあるでしょう
しかし我がクラブは違います！

どんな役職経験者だって、自クラブの活動には積極的に参加し額に汗して活動しています
「主権、在クラブ」の精神を貫き通し、我々は活動しています
わが町が綺麗になるって気持ちいいですね
今後共我々の奉仕活動を宜しくお願い致します
東京吉祥寺LC マーケティング・コミュニケーション委員長
L 笠原 伸太郎

東京山手ライオンズクラブ 55周年記念事業 道志村水源の森桜の植樹 4/3

10R1Z 東京山手 LC

環境保全に力を入れている山手 LC はクラブ結成 55 周年記念事業として山梨県道志村に桜の植樹を行いました。
山梨県道志村は主に神奈川県横浜市や下流域に豊富な水を水道原水として供給しています、この恩恵が途絶えることなく継続可能な環境であるため、水源地の森づくりに貢献したいと考えました。また、当該地区が東京 2020 オリンピックパラリンピック競技大会

における自転車ロードレースのコースになることが決まり、当クラブでは水源の森としての象徴や、オリンピック選手を見守る道づくりを想い、桜の植樹を結成 55 周年記念事業に決定いたしました。

それを受けて昨年 11/15 に桜の木を 50 本寄贈、並びに植樹祭を行いました。

それから 5 ヶ月、桜の木は順調に根付き、今月 4 月 3 日の観察では、一輪のつぼみが確認され、来年からは春の季節が楽しみになりました。

この桜並木が名所となり、将来にわたり永く楽しめる交流の地なることを、私を含めたメンバー全員は心より願っています。

東京山手 LC 会長 木村知世子



13R2Z 東京田無 LC



4月6日(土)西東京市市民公園グラウンドにて、例年東京田無ライオンズクラブが後援する第39回全日本少年野球大会西東京地区大会の決勝および閉会式が行われました。3月21日(日)より始まったトーナメント戦には、市内12チームが参加。開会式では



L一瀬会長による助成金の授与、L山田少年野球実行委員長による始球式が行われました。決勝戦では、田無エンジェルス対ひばりヶ丘ヤンキースが最終回1点差までもつれる大接戦となり、観客も大いに盛り上がりました。見事優勝した田無エンジェルスは5月に行わ

れる都大会へ出場します。今後も東京田無ライオンズクラブは、少年野球の支援に取り組んで参ります。東京田無 LC 少年野球実行委員長 L山田忠良



第 7R 第 2・3Z 合同アクティビティボーリング大会開催

7R2Z・3Z



平成31年4月6日に7R2Z Z合同で3つの児童養護施設、マハヤナ学園、星美ホーム、錦華学園の小学生から高校生を対象にボーリングと食事会にご招待をし、我々ライオンズメンバーがサポートをするアクティビティを開催しました。3つの施設から110名の生徒の方々そして



引率教員の方々が10名程の計120名にご参加いただきました。厳しい環境下に置かれているはずの生徒の方々の心から楽しんでいる笑顔、年下の子を当たり前のようにケアする年上の生徒たち。我々はこのアクティビティを開催できた事に心からライオンズクラブに所属できる事



に喜びを感じました。子供たちの無垢な笑顔に我々の奉仕活動の原点があることを改めて認識した忘れられない合同アクティビティにすることができました。7R2Z ゾーン・チェアパーソン L小川 光二郎

みんなダイヤモンド!

(共生を実感できる1日)

フィードバック インタビュー

2019年3月25日(月) 於: 東京都障がい者スポーツセンター

目的:

昨年開催のアクティビティが参加者の皆様にとってスポーツを楽しめ、交流が深まったのかを検証し、また、運営面での問題点、改善点にコメントをいただき今後の事業企画、運営に活かすためにインタビューを実施した。

コーディネーター: MC委員会副委員長 L 赤尾 嘉晃
記録: MC委員会副委員長 L 大類 雅之
写真撮影: MC委員会 委員長 L 吉岡 晋

1、今回のスポーツ交流イベントに参加して、率直な感想をお願い致します。

ヤマザキさん…自分の車で会場まで行きましたが、バスで埋め尽くされて駐車スペースがなく、守衛さんをお願いして駐車して開会式前の雰囲気だけ拝見しました。マイカー、車いすで行かれる環境での開催を望みます。

アキカワさん…こちらのセンターからバスが出ていたので、便利でした。イベントに関しては卓球バレーと吹矢へいきました。吹矢は体験者でいっぱい状態でした。卓球バレーは2回目でしたが競技が面白くて病みつきになりました。

カワゾエさん…会場についてスタッフの多さに驚きましたが、参加者の誘導にてこずっている感じがしました。スポーツ吹矢をするつもりでしたが奥まったところがあり、スタッフで場所を知らない方もいて配置をわかりやすくする方法があると思いました。卓球バレーは大勢で参加できてとても楽しかった。

タムラさん…会場各所に競技案内のプラカードや案内版があればお目当ての卓球バレー、ポッチャにすぐに行きつけたと思います。私は片麻痺で足が不自由ですので休憩所や座れる場所の案内があれば助かったと思います。会場全体の案内地図が張り出されていれば



良かったかな。

カナイさん…競技会場が混雑していて卓球バレーしかなくて、そちらに参加して、楽しかった。

セキグチさん…私は卓球バレーを東京北というチームで普及活動しています。北関東では盛んですがそんなに普及していない都内で試合が出来て有意義でした。子ども達と一緒にできて、普及という視点では参考になり有意義でした。また、バスを出していただいてありがとうございます。

フクダさん…バスを降りて会場に到着後、受付をした方がいいのか、どこへ行けばいいのかわからなかった。バス駐車場からの誘導に少し困惑しました。
ヤマモトさん…こちらのセンターでいろいろなスポーツ体験していますが、今回卓球バレーにはまってしまいました。とにかく楽しかったので北区のオリパ



ラのイベントで障がい者スポーツの一つとして卓球バレーを紹介させてもらいました。多くの方に障がい者スポーツを知って頂くためにこのようなイベントは必要と思いました。

シブイチさん.. 開会式の時間に、足の悪い人はずーっと立っていることは難しく椅子が必要です。いくつか並べていただきましたがもう少し多くあれば良かったと感じています。帰宅時にもバスを出していただき感謝しています。ただ連絡ミスもあり出発の時間など把握できていない人も多くいて右往左往しました。

トイダさん.. 会場に到着してから、受付や会場内の誘導と休憩所の案内、椅子の準備ですね。片麻痺や足の弱い人に座ってちよつと休憩できるスペースを確保して欲しかったですね。企画全体は素晴らしいと思いました。バスを出していただきありがとうございます。

2、運営について、事前の告知・案内と当日のプログラム構成など改善点などありましたらコメントをお願い致します。

- ・事前告知のチラシを見て参加しようというよりヤマザキさんにお話をいただいたので参加したという感じです。
- ・初めて体験した卓球バレーの審判の方が褒め上手で盛り上がれました。
- ・事前にこういう内容であることがわ

かっていればもっと仲間を誘ったと思います。

- ・楽しそうなチラシはセンターのボードに貼ってありました。詳しい内容はわからず、またバスが出なければ参加してなかったと思います。やはり行ってみて、体験しないとわからないですね。
- ・チラシ、パンフの文字が小さいと読む気持ちになるのは大変です。

こちらのセンターでは、スポーツ吹矢と卓球バレーのチームがあるので、そのチームのリーダーに事前説明会みたいなものがあっても良かったと思います。

- ・リーダーに伝われば利用者や選手の皆さんに正確に競技内容やバス便、駐車場の事前情報が伝わり、有効にイベントに参加できたかもしれません。
- ・出発はこちらのセンターを起点にすれば、私たちも集まりやすかったですね。



- ・こちらのセンターに登録しているスポーツ競技や合唱・カラオケなどの文化関連、合計22クラブあります。その中にクラブ連絡会が年1回開催されていますので、今後はそちらへ働きかけると良いかもしれませんね。
- ・「競技するのか」、「教えにいくのか」が事前にわかっていたいなかった。会場に行くと、吹矢は体験が中心。卓球バレーは体験もありましたが、試合が中心だった。

- ・吹矢で本当の試合をするなら、集中力を高めないと的中しない。隣にドンドン振動と音が鳴るポッチャ競技をされてるのは環境的に少し厳しい。場所を考えて欲しい。
- ・大会の趣旨が障がい者も健常者も一緒にスポーツを体験して楽しみ、お互いの立場を知ろうということとは知らなかった。



- ・競い合いなのか、助け合いながら同じ種目を楽しむのか、競技のコーナーや試合の方法を分けてもらえればもっと楽しみ、交流ができたと思います。

- ・例えば卓球バレーでも障がい者、ライオンズ半分と子どもチームの対戦をあらかじめ組んでおけば自然とチーム内で交流が深まり大会の趣旨的な試合が出来たかも。
- ・実際にやった方が楽しいので特に卓球バレーは体験のコーナーをもっと増やしてもらいたいと思った。

- ・卓球バレーの決勝戦は日本で1位2位の頂上決戦でめったに見られない、最高の試合でした。場内へ大々的に知らせた方が良かったと思います。

3、後半のメイン、プリンセスプリンスのコンサートについて感想をお願いします。

- ・先ほど申しましたように、バスが出る時間がわからず早めに駐車場へ行ってしまう参加していません。

- ・この中で参加したのは1名でした。障がい者が皆で一緒に歌って踊れるコンサートに行くことはめったにないことで、もったいないことをしました。知的障がい者の子たちのダン

スも楽しそうでした。

- ・コンサートは皆がいる時間、途中あたりによれば皆が参加できもつと盛り上がったし、障がい者も思いっきり歌い、ダンスしていつもと違う体験ができたと思う。

4、将来について、みなと一緒にスポーツを楽しむには、制度や意識の変化が必要と思われます。今後の企画運営に対して、提案等ありましたらお願い致します。

- ・会場の全体の案内の地図（フロアマップ）を用意して、スタッフの誰に聞いても競技やゲームの会場、時間をわかるような競技案内係の充実をお願いします。

- ・会場全体へのアナウンスがあった方がいいですね。例えば「これから卓球バレーの決勝戦がアリーナA面で行われます」と「現在サブアリーナ、魚釣りゲームコーナー待ち時間ありません」など。

- ・タイムスケジュールの張り出しがあったら便利。アリーナとサブアリーナで何時に何をやっているかの表示と交通機関、特に帰りのバスの時間などの掲示。

- ・交流が目的なら、ライオンズのメンバーがポッチャや卓球バレーのチームを作り試合に参加するとか、障が



い者とのハイブリッド（混合）チームを組むのも良いですね。

- ・模範試合として、最強チームの試合を皆で観戦するという設えもあっていいと思う。今回の卓球バレーの「春日部」対「茨城」はめったに見られない対戦、この競技の黄金カードでしたからね。

- ・コーチで参加するのか、選手で参加するのか、他の競技を体験にいくのか、交流を深めるのが事前にわかっていれば、参加の仕方がよく理解できたと思う。

- ・開催の趣旨が徹底されていることが重要だと思う。何のために参加するかによって持参する用具も変わってくるし、吹矢など本格的に準備していきます。私たちはアスリートですよ、お忘れなく。

- ・他の競技の車いすバドミントンや卓球も採用し体験コーナーを作って欲しい。

<まとめ 20 項目>

- ① 全体的にバスの移動は良かった、センターまで各自車利用&バスライドは OK
- ② いつもやっているのとは違う他の競技を体験できたことを皆喜んでいました
- ③ 卓球バレーの体験コーナーと実戦試合トーナメントをできて良かった
- ④ 駐車場がなく会場まで行きついたら競技をせず帰宅した
- ⑤ バスから降りて、会場へそして受付など導線がわからず困った
- ⑥ 会場全体で何の種目、体験をやっているかの全体図が無く困った
- ⑦ 片麻痺なので、長時間の立位が出来ず椅子が欲しかった
- ⑧ 休憩所の場所がわからず体育館の中で休んだ
- ⑨ バスの時間がはっきりせず、コンサートをみられたのは1人だけ。
- ⑩ せっかくのコンサートに参加できず残念だった、歌って踊りたかった
- ⑪ 事前に、各種目のリーダーに競技、コーチ、試合、体験、交流など参加形態、意識など打ち合わせしておくべき
- ⑫ 健常者との交流ならば事前告知と当日混成チームなどを作ればできた
- ⑬ スポーツ吹矢は体験のみすれば並ばずにすんだかもしれない
- ⑭ スポーツ吹矢のコーチで参加したかった
- ⑮ 事業の目的が障がい者と健常者の交流とは知らなかった
- ⑯ 新しい種目に挑戦して、地元センターに種目を持ち帰って皆で楽しんでいる
- ⑰ 卓球バレーの春日部対茨城は日本で有数の強豪チームの一戦だった
- ⑱ 駐車場の完備とトイレ、事前の事業内容説明、受付、会場全体の案内、休憩、椅子スペースの確保などの整備が必要
- ⑲ 2020 オリパラに向かっての大会をするより、大会後も継続することが重要
- ⑳ ライオンズのスタッフが多い割に会場案内など不慣れであった。競技と一緒に参加して欲しかった

・最初なのでいろんなことを盛り込んだので中途半端になったのかもしれない。試合？体験？ゲーム？交流？コンサート？何を優先していくかをこちらのリーダーとともに話し合っ
て作り上げられれば一番良いですね。
・2020 オリパラで今は盛り上がりつつありますが、こういう事業はそこで終わらずに、この先もずっと続けて
いただきたいと思います。

結びに

ライオンズプロジェクトチーム

し 佐久間 侶男 から ..

皆さんに参加してもらって本当にお礼を言いたいです。全体的に楽しんでもらえたと思っています。誘導、受付、案内などで反省する点は多々ありました。今後何か企画するときには、皆と一緒に楽しめるような環境を整えていきたいと思います。また意見を聞かせてください。本当にご参加ありがとうございました。



参加者からのお手紙

私は、「みんなダイヤモンド！」に行ってよかったと思いました。なぜなら、足が不自由な人も、目が見えない人も、耳が聞こえない人も、何のしょう害もない人も、スポーツをつうじてここまで仲良くなれるなんて！と感動してしまいました。またこんな機会があれば、私は行くつもりです。今度は、友達をもっと連れて行きます。再び開さいされることを心から願って待っています。

小5 福田 百希

障害者、家族、高齢者、地域の方々等多くの方と触れ合いながらゲームやスポーツを楽しむことができました。中でも「ダイヤモンド」は、子どもたちもノリノリに踊り、保護者も若い頃を思い出しながら歌い踊ることができ、とても楽しかったです。次回開催の時はずっとたくさんの友人を連れて参加したいと思います。お互いのことを知り理解すること、共生を実感できる笑顔の絶えない一日でした。障がい児童やその家族が参加できるイベントを企画してくださりありがとうございました。

小3 児童 保護者 佐々木 肇

2/15（金）献血・骨髄移植フォーラム & アイバンクセミナーを開催



第一部の献血・骨髄移植フォーラムでは白血病から完治したマルフォートラ・マイケルピーター様の講演、骨髄移植を受けた元宮城県知事 浅野史郎様の骨髄移植体験談をお聞きし、第二部のアイバンクセミナーではアイバンクについての短編ドラマの放

映、アイバンク代表理事 澤充 様による角膜移植に関する説明やオペの解説、ドナーファミリーからの手紙朗読、昨年お亡くなりになってしまった東京江東南 LC 半谷英治 L の奥様である半谷駒子様にもお話しをしていただきました。

スポーツ選手の白血病のニュースと重なったこともあり、NHK の取材を受けるなど、大勢のメンバーの皆さまにも出席をしていただき大変盛況な会となりました。
取材：GST 献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会

3/4（月）第3回キャビネット会議 AP 西新宿6階 NOP 会議室にて開催

3月4日（月）AP 西新宿6階 NOP 会議室に於いて第3回キャビネット会議が開催された。

会議の冒頭、今井ガバナーの挨拶では会員増強への強い協力要請があった。

続いて山浦 PID、細川前地区ガバナー、伊賀第1副地区ガバナー、進藤第2副地区ガバナーの挨拶の後、日本赤十字社より前年度細川ガバナーのもと献血車両2台寄贈の実績に対し感謝状が細川前地区ガバナーに贈呈された。

LCIF ナレシュ・アガワル理事長からは前年度の寄付が全世界で [準地区 上位 50 地区] [クラブ 上位 100 クラブ] の実績に対し細川前地区ガバナー、東京銀座ライオンズクラブ前会長 越村義雄 L に国際会長記念メダルの贈呈、石井元ガバナーには前年度 1,000 ドル献金5口以上のアワードが贈呈された。続いて議事の初め、会員増強のお願いと



説明が GMT 会員増強委員会重信委員長、LCIF キャンペーン 100 についての伝達、説明が村木 LCIF キャンペーン 100 地区コーディネートより行われた。

ガバナー提出案件について審議、承認が行われ、各委員会委員長報告と続き一般事項について関地区幹事、会計事項は中村地区会計からの報告があった。

次回の第4回キャビネット会議の日程確認

(6月3日月曜日東京プリンスホテル)の後、3月11日のさだまさしチャリティーコンサートのチケット(ほぼ完売)の配布が行われ第3回キャビネット会議は終了した。

取材：マーケティング・コミュニケーション委員会 L吉岡晋



3/14 (木) 第2回クラブ会長会

3月14日東京都赤十字血液センター4階会議室に於いて第2回クラブ会長会が開催された。今井ガバナーの挨拶では会員増強、LCIF キャンペーン100、MJF にいて、更なる協力要請があった。それに伴い議事においては GMT 会員増強委員長 L 重信真一、地区副コーディネーター L 高桑昌彦、FWT 地区コーディネーター L 阿部かな子、LCIF キャンペーン100 地区コーディネーター L 村木秀之、LCIF MJF 地区副コーディネーター L 伊賀則夫より詳細に解説された。

続いて、組織連携・法人化推進委員長 L 池田和司より定款案に対する各クラブからの質問及び意見（パブリックコメント）に対する回答について解説され、それについての質問にも丁寧な答弁があった。回答書は、この投稿記事に PDF データで添付致しますのでご熟読願います。PDF（定款案に対する各クラブからの質問及び意見（パブリックコメント）に対する回答）会長会において法人化についての議事は重要であったと思われます、前年度の年次大会において、法人化を推進する議案が承認され、推進委員会は有識者を中心に法人化における定款案をまとめ、各クラブからの質問にも回答書を提示した、これを各メンバーはお読み頂き法人化について考えて頂きたい。



以前、赤羽 LC が献血および骨髄バンクの呼びかけを行っているのを NHK ニュースで放映した際、意識的に LC 奉仕活動であるビジュアルを落としていたのは非常に残念でした。

法人化により社会的な信用が上がればこのような対応は減り、LC の奉仕活動のパブリシティも取りやすくなり、一般の人々との相互理解も深まり、重要である会員増強などにつながるのではないのでしょうか、LC のマーケティングについてマスメディアに依存する考えはありませんが、SNS などで発信する LC のコンテンツはマスメディアとの相乗効果を持って多くの人々とのコミュニケーションを作り上げることと思います。

最後に、法人化についての議論は各クラブ会



長がお持ちになった推進委員会の回答書をもとに行って頂ける事を期待致します。

また、法人化議事の報告から取材者としてよりマーケティング・コミュニケーション委員長としての立場で法人化についての考えを書かせて頂きました事についてお詫び申し上げます。

マーケティング・コミュニケーション委員会委員長 L 吉岡晋 PDF
<http://330a.jp/wp-content/uploads/2019/03/ecb327ddaa6cc9ed36cbe42a8dd976bc.pdf>



3/16 (土) YCE 派遣生オリエンテーション開講式

2019年3月16日(土)、AP西新宿にて、YCE委員会主催のYCE春期・夏期派遣生オリエンテーション開講式が開催されました。今井ガバナー、伊賀第1副地区ガバナー、進藤第2副地区ガバナー、河合複合地区YCE委員会・委員長ほか、春期3名、夏期6名の

派遣生及びその保護者、委員会関係者など、40名が参加し、派遣に向けての心構えや激励の言葉が述べられました。春期タイへの3名の派遣生は今回が最初で最後となるため、今井ガバナーより交換用のバナー・バッチが贈呈され、盛会のうちに終了しました。夏期

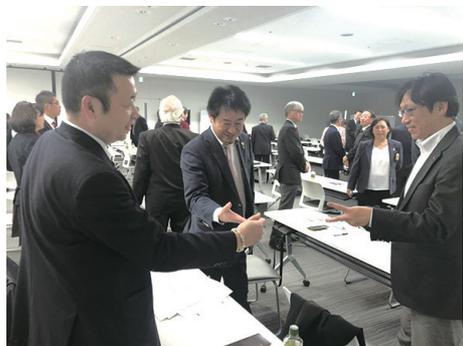
派遣生については、3月30日(土)から6月22日(土)まで隔週のペースで全6回の英語授業及び日本の文化等を学ぶ派遣生オリエンテーションがスタートします。

YCE委員会委員長 L 高木千明



3/18 (月) ライオンズクエスト体験セミナー

3月18日(月)の14時より東京都赤十字血液センター研修室にて、青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会主催のライオンズクエスト体験セミナーが開催された。小林委員長の挨拶のあと、松竹しよりいじめ体験報告があり、自分の子供が5年間引きこもった経験からどのように当時の状況を打破したのかという貴重なお話を聞かせていただいた。大切なのは「本人の気持ちを尊重する」ということであった。



体験セミナーの前半はライオンズクエストプログラムの歴史や背景、外川講師の実際の体験談、ライフスキルの大切さなどが語られた。2002年にライオンズクラブが著作権を買い取ってからはライオンズクエストのテキストはライオンズクラブ以外のルートでは手に入らないということであった。

セミナー後半は実際にライフスキルの体験を試みようということで、グループに分かれての「餃子じゃんけん」や「聞き上手チェッ



クカード」を使用してのグループ討論などを行った。質疑応答でも今後の課題を見つめる質問もあり、意見交換が行われた。最後に伊賀第一副地区ガバナーの講評で閉会となった。セミナー全体を通して参加者の意識がとても高い充実したセミナーであった。

マーケティング・コミュニケーション委員会
副委員長 し大類雅之

3/24 (日) 「パラ駅伝 inTOKYO2019」 応援観戦

3月24日パラ駅伝 inTOKYO2019が駒沢オリンピック公園陸上競技場に於いて開催された。「あなたは、何をつなぐ？」をテーマに障害のある人もない人も、チームがひとつのタスキをつないで駆け抜ける。

選手、観客、ボランティア、この駅伝にかかわるすべての人が楽しみ、一体となり創り上げる、パラ駅伝。をコンセプトに日本財団パラリンピックサポートセンターが主催、後援団体としてライオンズクラブ 330-A 地区が参加した。



ライオンズデープロジェクトチーム、オリンピック・パラリンピック支援委員会、社会福祉・障がい者支援委員会が力を合わせ165名のLCメンバーで応援観戦が行われ、昨年11月24日の、みんなダイヤモンドに続き共生を感じた、春の日差しに包まれた1日であった。

マーケティング・コミュニケーション委員会



3/25 (月) ~ 3/29 (金) 18 ~ 19 年度 YCE 春期来日生キャンプを開催



2019年3月25日(月)～29日(金)の5日間、神奈川県鎌倉市にあります WeBase KAMAKURA を宿泊先として 330 複合地区 YCE 委員会主催、330-B 地区 YCE 委員会主管の YCE 春期来日生キャンプが開催されました。330 複合地区には、タイから 6 名の学生が来日しています。最終日である 29 日(金)に開催されましたフェアウェルパーティには、今井複合地区ガバナー協議会議長・A 地区ガバナーをはじめとして、進藤第

2 副地区ガバナー、B・C 各地区の地区ガバナー・第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、河合複合地区 YCE 委員会・委員長、ホストファミリー関係者、委員会関係者など、総勢 90 名が参加し、来日

生の来訪を歓迎しました。それぞれの地区ごとにガバナーからの記念品の贈呈や地区の



YCE 委員長からのホストクラブ・ホストファミリーの紹介が行われました。来日生全員で行うアトラクションでは、ダンスが披露され、盛会のうちに終了しました。各来日生は、名残惜しくお別れをしつつ、それぞれのホストファミリーに引き取られてホストファミリー宅での滞在生活がスタートしました。

YCE 委員会・委員長 L 高木 千明

4/13 (土) 第 65 回年次大会信任投票及び選挙結果

2019年4月13日土曜日9:30分より東京プリンスホテル鳳凰の間で 330-A 地区第 65 回年次大会が開催され 2019～2020 年次期地区ガバナー、次期第 1 副地区ガバナー、次期第 2 副地区ガバナー各候補者の所信表明が行われた。

その後、それぞれの選出について指名・選挙管理委員会から説明があり、投票を行った。投票結果は、以下の通り。

次期地区ガバナーに 東京ピース LC 所属 伊賀保夫候補者が選出された。

投票総数 542 票

信任票 487 票

不信任票 45 票

無効票 10 票

次期第 1 副地区ガバナーに 東京世田谷 LC 所属 進藤 義夫候補者が選出された。

投票総数 542 票

信任票 512 票

不信任票 22 票

無効票 8 票

次期第 2 副地区ガバナーに 東京新宿 LC 所属 L 中井 正力が選ばれた。

投票総数 542 票

有効票 536 票

無効票 6 票

L 中井 正力 378 票 (東京新宿 LC 所属)

L 青木 秀茂 158 票 (東京吉祥寺 LC 所属)

マーケティング・コミュニケーション委員会



第15回 青少年 英語スピーチコンテスト

今こそ君の出番だ！
チャレンジしよう！

応募者募集



第15回青少年英語スピーチコンテスト応募要項 ～今こそ君の出番だ チャレンジしよう～

- 【スピーチテーマ】 ①「日本の素晴らしさ」
②「学生の社会貢献について」
③「日本が世界に貢献できること」
- 【日 時】 2019年6月16日(日)14:00～15:00 (13:30 受付開始)
- 【会 場】 京王プラザホテル本館 4F「花 CD」
東京都新宿区西新宿 2-2-1 4F TEL 03-3344-0111
<https://www.keioplaza.co.jp/access/>
- 【募 集】 東京都・埼玉・神奈川・千葉の各県に在住又は通学している高校生15名。
※但し、交換留学プログラムの規定上、以下を満たした者に限る。
①日本国籍の者
②満5歳以降に海外に1年以上居住した者は除く
※できるだけ多くの学校の生徒の皆さんに出場していただくため、本選への出場は各学校2名に絞らせていただきます。
※1次審査：提出された日本語でのスピーチ原稿にて書類選考
(A4サイズ1枚以内で申込用紙に添付して提出して下さい。スピーチ時間は5分。)
- 【応募締切】 2019年5月13日(月)
- 【選考基準】 1. 日頃考えている事、意見等を英語で積極的に発表する意欲
2. 流暢であるか否かは問わない

【都知事賞】 副賞 ライオンズクラブ国際協会の交換学生として2020年8月に約3週間
アメリカ合衆国カリフォルニア州へ派遣

【地区ガバナー賞】 副賞 セブ島で語学研修

【複合地区YCE委員長賞】 副賞 ライオンズクラブ国際協会の交換学生として2020年4月に約2週間、タイへ派遣

【本コンテストに関するお問い合わせ先】 330-A地区 YCE委員会 担当 生形昌道(うぶかた) e-mail: web@nissho.co.jp

応募書類 第15回青少年英語スピーチコンテスト要項・応募書類

【主催】 ライオンズクラブ国際協会 330-A地区 YCE委員会

【後援】 東京都

【後援】 ライオンズクラブ国際協会 330 複合地区 YCE委員会

LCIF Report

330 - A 地区全 200 クラブ正会員数× 100 ドル献金のお願い



LCIF(MJF)・緊急支援委員会委員長
L 伊賀 則夫

日本全国のライオンズメンバーに言えることですが、私達がそれぞれのクラブに縁あって入会したのですが、まさか LCIF (ライオンズ国際財団) なるものがあって、1,000 ドル献金や、クラブメンバー数× 100 ドル献金を求められるなど、想定もしていませんでした。

今年で 102 年を迎えるライオンズクラブは、50 年前にライオンズ国際財団を作り、奉仕には、額に汗を掻く労働奉仕と、飢餓、病気、災害等々で苦しんでいる地球上の人たちを、お金で支える金銭奉仕の 2 つの奉仕を掲げたのです。

日本には 35 地域があり、ガバナーが毎年 35 人就任します。労働奉仕の実態に優劣をつけることは難しいのですが、金銭奉仕は簡単です。何処の地区が幾ら供出しているのかが、グラフで示され一目で分かるからです。我が、330-A 地区の供出金額は 3 年前までは、35 番目の最下位でした。

前期、前々期こそ皆様のご協力のお陰でベスト 10 入りは果たしているものの、経済では東京地区が 1 人勝ちしていると言われていた割には、決して誇れる数字ではありません。

そんな中、今期から『クラブ正会員× 100 ドル× 3 年間』献金を、世界 147 万人のメンバーにお願いするという、LCIF 理事長方針が発表されたのです。今までの 20 ドル献金は、廃止になりました。330-A 地区は 200 のクラブ数がありますが、全クラブが対象です。

以下、4 月 6 日時点では 14 クラブからの献金しか確認できていません。

残りの 186 クラブからの献金を是非お願い申し上げます。

■ 330-A 地区 3 月 31 日現在での MJF の現況

- 累計金額: 31,765,837 円
- 口 数: 286 口
- 献金者数: 185 名

LCIF 献金について

献金の方法、申請書ダウンロードはこちら



<http://330a.jp/lcif%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>

リードギフト誓約者



L 伊賀保夫
(東京ビース LC)



L 山浦晟暉
(東京新宿 LC)

メジャーギフト誓約者 リジョン・ゾーン順



L 山田春雄
(東京銀座 LC)



L 村木秀之
(東京数寄屋橋 LC)



L 大石誠
(東京数寄屋橋 LC)



L 阿久津隆文
(東京赤坂 LC)



L 今井文彦
(東京巣鴨 LC)

キャンペーン100 (\$ 100 献金) 達成クラブ

2R2Z 東京数寄屋橋LC	5R2Z 東京江戸川東LC
3R1Z 東京新橋LC	6R2Z 東京鶯谷LC
3R3Z 東京ヒルズLC	7R3Z 東京光が丘LC
4R2Z 東京江東南LC	8R1Z 東京サンシャインLC
5R1Z 東京葛飾LC	10R2Z 東京田園調布LC
5R1Z 東京亀有LC	11R3Z 東京新宿東LC
5R2Z 東京江戸川南LC	12R1Z 東京武蔵野LC

「新元号に寄せて」

桜満開の2019年4月1日、多くの国民が見守る中、新元号「令和」が公表された。昭和天皇崩御の悲しみと重苦しい自粛モードの中で迎えた「平成」と異なり、早くからメディアで予想合戦が繰り広げられるなど、明るく華やいだ幕開けとなった「令和」。NHKのLIVE中継は視聴率19.3%、首相官邸のTwitterは発表後1時間半で361万回再生、号外配布のパニックぶりからも、人々の興奮と期待が伺える。スマホはもちろん、パソコンや携帯もほとんど普及していなかった平成元年からの30年余は、多くの方にとって生活環境が大きく変化した時代であったと思われる。

一方で、過去の元号や、新元号の典故である万葉集に関心をもち、我が国の「現在（いま）」につながる歴史や文化に改めて思いを馳せる良い機会でもある。

時代に合わせて変化する柔軟性と、いつの時代も変わらない本質。そのどちらも同じくらい大切なのだと認識しつつ「令和」時代におけるライオンズクラブの在り方を考えていきたいものである。

MC委員会 L 荒牧知子



https://youtu.be/usuZl5lAcuU
九品仏 浄真寺 令和 書

浄真寺の地は、もともとは世田谷吉良氏系の奥沢城であった。小田原征伐後同城は廃城となったが、寛文5年（1675年）に当地の名主七左衛門が寺地として貰い受け、延宝6年（1678年）、珂碩（かせき）が同地に浄真寺を開山した。

本堂の対面に3つの阿弥陀堂（三仏堂）が立つ。中央の堂に上品上生（じょうぼんじょうしゅう）・上品中生・上品下生、北の堂に中品上生・中品中生・中品下生、南の堂に下品上生・下品中生・下品下生の計9体の阿弥陀如来像が納められており、「九品仏」と呼ばれるのはこの印相の異なった9体の阿弥陀如来像から。

今回「新元号」令和を行筆して頂いたのは、キャピネット幹事 関真一郎L紹介の浄真寺 役員代表 清水 英硯氏。東京田園調布ライオンズクラブのメンバーでもある。書の様子は、添付されたURLから閲覧可能。東急大井町線九品仏駅、近くの広い境内は、春は桜、秋は紅葉も美しく、自然の彩りを楽しみながら散策できる。

マーケティング・コミュニケーション委員会

編集後記

大正、昭和、平成と約100年の時を経て、令和という時代が来る。欧米諸国と対等に国際舞台で活躍できるよう極東の島国がひたすら駆け抜けた1世紀、さまざまな奉仕の精神も生まれてきた。私がライオンズ活動とともにやっている奉仕活動のボーイスカウトにこのような言葉がある。

「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするように、そして報いを求めぬよう」。これは大正11年、少年団日本聯盟「現ボーイスカウト日本連盟」初代総長、後藤新平氏の言葉として「少年の頃より自助、互助、自制心の心がけをするよう」力説したもので、ボーイスカウトの指導者訓練などで披露されるものです。初めて聞いたときは新鮮で記憶に残る言葉であった、60年を経た現在もいつもそのフレーズを聞くと新しい気持ちになる。

さて、ライオンズの誓いはどうであろうか（下記写真）。今の自分にはあまりにも大きな誓いで、どこまでできるのか気が遠くなる言葉だ。まずは何か出来ることは無いかと歩を進めていきたい。新しい令和の時代も互助理解の精神で少しずつではあるが前に進めたらと思う。知性を高めてクラブ、仲間、地域を愛し「われわれは」という言葉を大切に、ライオンズで出会えた友人と自由と平和を守りたいものである。We Serve

マーケティング・コミュニケーション委員会 副委員長 L津守 勝男

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、
友愛と相互理解の精神を養い
自由と平和を守り、
社会奉仕に精進する。

主要行事予定 (2019年)

5月18日(土) 第65回330複合地区年次大会 東京プリンスホテル
6月3日(月) 第4回キャビネット会議 東京プリンスホテル
7月5日(金) 第102回ミラノ国際大会 イタリア・ミラノ
～9日(火) (基調講演者：トニー・ブレア氏 英国元首相)

クラブアクティビティや委員会セミナーの予告、報告は330-A地区HP右上の投稿欄からお願い致します。

330-A NEWS デジタル版は過去の地区ニュース7年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の

変化を見ることができます。HPは「330Aで検索」



2018-19 マーケティング・コミュニケーション委員会 メンバー紹介

L吉岡 晋	委員長	けやきLC	L若槻哲也	委員	石泉LC
L大類雅之	副委員長	江戸川中央LC	L矢追秀紀	委員	ウエストLC
L赤尾嘉晃	副委員長	豊新LC	L大和祥郎	委員	国立LC
L津守勝男	副委員長	大森LC	L根岸雅也	委員	八王子いちようLC
L桂 太郎	副委員長	世田谷LC	L原 成兆	委員	瑞穂LC
L荒牧知子	委員	東京LC	L飯田容子	オブザーバー	表参道LC
L金代直人	委員	神宮LC	L新井大介	オブザーバー	新宿LC
L田下一雄	委員	隅田川LC	L後藤裕文	担当副幹事	法政LC